

公益財団法人 福岡アジア都市研究所

都市政策資料室

URC資料室だより NO. 116

平成 30 年 7 月号

注目！

本年度第1回ナレッジコミュニティ
開催のお知らせ 2p

NEW：書評「福岡はすごい」牧野洋 著（イースト新書） 2p

NEW：所員雑感：eスポーツ先進地 中国を訪ねて 3p

福岡アジア都市研究所は、
福岡市を中心に産学官が協力して
設立した研究機関です

タイトルバック：琴性根氏（釜山発展研究院）撮影

◆URCニュース

平成30年度・第1回 都市セミナー

「住みやすく 働きやすい 都市『福岡』のしくみを考える」を開催します。

福岡市は、現在も人口が増加している活力のある都市です。将来においても福岡市が生活の質の向上と都市の成長を維持し、活力のある都市であり続けるためには、様々な年齢や豊富な経験を持つ人材が集う都市であり続ける必要があります。現役世代の労働力は勿論のこと、女性や高齢者の労働参加率の向上も重要な要素となります。



福岡市 荒瀬副市長

今回のセミナーでは、まず福岡市の荒瀬副市長により、「超少子高齢社会 ～輝き活躍する女性たち～」と題し、福岡市の施策及び今後の展望に関する基調講演を行います。

続いて、当研究所の中村研究員により、「福岡市における生産年齢人口の減少を見据えた施策展開に

関する研究」の成果報告を行ないます。また、福岡を拠点として活躍されている実業家の(株)しくみデザイン代表取締役の中村俊介氏による講演「大人も子供も“HAPPY”なしくみを創る」、最後に、(株)Waris代表取締役/共同創業者の河京子さんに「女性が活躍するしくみを創る」と題し、ご講演頂く予定です。

「福岡」が、性別や年齢に関わらず、多様な分野で個

性と能力を發揮し、活躍できる都市であり続けるためにはどのようなしくみが必要なのか、考える機会になればと開催するものです。経営者や人事担当者の方は勿論のこと、働く女性、子育て中の女性、そして起業をお考えの方など、多くの皆様にご参加頂ければと存じます。

なお、本セミナーの申込み方法や詳細内容等は、URCのホームページや告知ちらしをご参照下さい。定員 100 名(先着順)。申込み締め切りは、7月17日(火)当研究所必着です。

■日時:平成30年7月19日(木)

13:30~16:30

(開場 13:00)

■場所:福岡アジア美術館

「あじびホール」

(福岡市博多区下川端町3-1)

(株)しくみデザイン
代表取締役 中村俊介氏(株)Waris
代表取締役/共同創業者
河京子氏

(山本美香 主任研究員)

◆URC資料室ニュース 平成30年度 第1回 ナレッジコミュニティ

「都市政策資料室からみた福岡市の30年」を開催します！

前号でもお知らせしましたが、今年8月、当研究所の前身である財団法人福岡都市科学研究所が設立されてから30周年を迎えます。

そこで、今年度のナレッジコミュニティでは、福岡市のこれまでの30年の変化を様々な切り口で振り返るシリーズを、4回に分けて行うことにいたしました。シリーズの第1回目は、都市政策資料室の司書が「都市政策資料室からみた福岡市の30年」について報告し、ゲストスピーカーにこれまでのURCを振り返ってコメントをいただきます。その後、ご参加の皆さんに、福岡市が「地方最強都市」と言われるようになったキーポイントや、キーワードについて考えていただき、これからの福岡市の方向性について話し合ってください。

終了後は懇親会(有料)を予定していますので、お気軽

にご参加ください。

*ナレッジコミュニティのみのご参加は無料です。

【日時】平成30年8月10日(金)

18:30~20:00(受付開始 18:15)

報告・ゲストスピーチ・グループワーク

【会場】福岡市職員研修センター 402・403 研修室
福岡市中央区天神1-6-8 天神ツインビル4階

【定員】50名 ※先着順受付

【お申し込み】Eメール(library@urc.or.jp)または

FAX(092-733-5680)で、

①氏名・②所属・③電話番号・④Eメールアドレスを
ご記入のうえ、お申し込み下さい。

(メール件名:平成30年度 第1回 URC ナレッジ
コミュニティ参加希望)

*懇親会への出欠についても明記してください。

(山崎三枝 都市政策資料室 司書)

◆今月のおすすめ/書評「福岡はすごい」牧野洋 著 (イースト新書¥861+税)

最近、福岡市の元気の良さや勢いについて書かれた本が相次いで出版されています。この「福岡はすごい」もそうですが、当書は、地元在住者の書くいわゆる“お国自慢”ではなく、東京生まれで海外居住経験もある著者が、さまざまなデータを丁寧に紹介しながら、福岡市の「すごさ」を解説しているのが特徴です。そして、当書で使われているデータは、URCが提供したものも多くあります。実際に、私は著者から取材を受け、データブック「Fukuoka Growth」で紹介しているものなど、いくつかのデータを紹介しました。その後も何度か電話やメールで直接やりとりし、丁寧にエビデンス(根拠)を集められている印象を受けました。当研究所以外にもさまざまな機関、事例を取材されていて、福岡の優位性、可能性を、私達市民も気付かないようなところまで、多角的に述べられています。著者は、福岡市の開業率の高さなど新しい価値を生み出す風土が、数十年前のアメリカ西海岸と似ており、「日本の西海岸」として、少子高齢化で先行きの見えない日本を救うとまで述べています。首都や政治・経済の中心から離れた西に位置し、イノベーションやエンターテインメント、クリエイティビ

ティに優れ、ほどよく豊かな自然が近いことなどが共通点としてあげられています。こうした特性と、スタートアップ都市宣言からの創業支援策やアジア地域との交流など、福岡市が取り組んできた政策も丁寧に取り上げ、成長の一因として紹介されています。また、URCの発行「第3極の都市」の国際的な都市比較についても取り上げられています。

実際にカリフォルニア、福岡にも住んだ経験のあるジャーナリストである著者が分析する「福岡はすごい」事実を、ぜひご一読ください。アマゾンの書評も高評価が多くなっています！(当資料室に置いています)

(畠山 尚久 情報戦略室 研究主査)



◆会員研究員募集のお知らせ！

当研究所では、「会員研究員受入事業」を実施しています。会員研究員を「賛助会員」及び「福岡市職員」から募集しており、持ち込みのテーマを当研究所で研究していただくものです。当研究所が持つ有識者ネットワーク、資料アーカイブを活用でき、また、研究スタッフによる助言などを受けることが出来ます。

なお、会員研究員は、随時募集しておりますので、申込みを希望される方は、「会員研究員申込書」及び「確

認事項」をご提出下さい。なお、法人会員の方は「推薦書」の提出も必要となります。推薦書に特定の様式はありませんが、所属長名での推薦文書の提出をお願いします。

詳細内容、申込書の様式等は、以下のページをご参照下さい。http://urc.or.jp/kaiin

問い合わせ・申込み先：info@urc.or.jp

(山本美香 主任研究員)

◆所員雑感：eスポーツ先進地 中国を訪ねて



上海のeスポーツカフェ「B5 電競館」の様子

みなさんは、いま話題のeスポーツをご存知でしょうか？eスポーツとはデジタル技術が駆使されたゲームによる競技のことで世界に普及している新しいスポーツです。2022年に中国杭州で開催されるアジア競技大会では正式種目となり、2024年のパリオリンピックでも正式種目になると期待されています。日本ではまだ浸透していませんが、海外では賞金が20億円を超える大会が開催され、大きな盛り上がりを見せています。

今回、eスポーツの先進国である中国にeスポーツ事情を調査してきました。まずご紹介するのは上海にある

eスポーツカフェ「B5 電競館」です。1時間100円ほどで利用できます。店内は明るい雰囲気です。店内は明るい雰囲気です。店内は明るい雰囲気です。ゲームを楽しみます。月に2度ほどeスポーツの大会が行われ、ゲームをしない人でも気軽に観戦することができます。中国にはこうした施設が都市部に多く展開しているそうです。次に向かったのは広州に拠点を持つ中国を代表するゲーム企業でeスポーツの大型大会を運営している企業「NetEase (ネットイース)」です。中国ではeスポーツ人口が3億人を超えていると言われ、市場も2019年には2兆円に達するとのことです。国家的にeスポーツアスリートを育成しており、世界をリードしています。ゲーム大国日本がこれからeスポーツをどのように普及していくのか世界が注目しています。



広州のシンボル「広州タワー」

(中島賢一 調整係長)

◆特別寄稿 *一人一花の楽しみ* 第5回 7月 向日葵(ひまわり)



一人一花 一人1冊特別展示

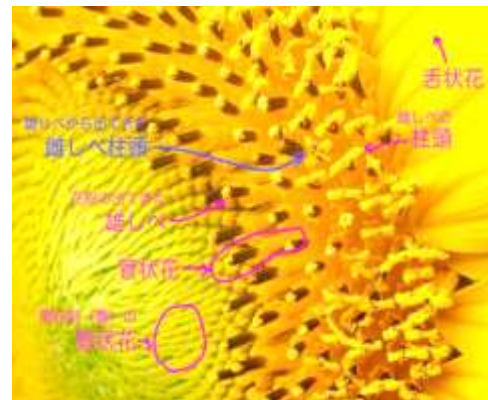
百道の総合図書館では一人一花、一人一冊と題した、28名の司書さんセレクト「私がおすすめる花の本」が、POP風な紹介文とともに、特別展示された6月1日～7月1日まで、絵本あり、写真集あり、浮世絵集あり、花の水引アートの本あり、花をテーマにした切ない小説あり、様々なジャンルからの「花」をテーマにした図書館らしいイベントが開催されていた(写真)。ぜひ、市内図書館にも巡回展示を希望したい。28冊、1ヶ月は短くない？ゆっくり読ませて欲しかったなあー。

さて、7月の一花紹介は「向日葵・ひまわり」学名ヘリアンザスは「太陽の花」の意、英名Sun flower キク科・ヒマワリ属の一年草。原産地はアメリカ北部。コロ

福岡市が提唱する一人一花運動、157万人の市民が一人一花を育てると福岡は157万本の花溢れるフラワーシティになる。

年初の一人一花宣言から半年が過ぎた。

ンブスが西洋に持ち帰り品種改良されたとか。花言葉は「あなただけを見つめている」「崇拜」「愛慕」太陽が大好きな7月の誕生花。ゴッホやモネが描くほど心魅かれる花。真夏の太陽と青空、入道雲や蝉の声が似合う元気を貰う花でもある。北原白秋の「向日葵のゆさりともしせぬ重たさよ」も好きな句。植物学的にはキク科なので小さな花の集合花。花びらの部分はその1枚1枚が独立した花(舌状花)でおしべはない



向日葵 花弁説明

が中心部分はひとつひとつが花(筒状花)で、おしべとめしべがありタネが出来る。一輪で600～2000粒の種ができる。向日葵は用途別で、観賞用、食用(種)、採油用に大別される。食用種は皮をむいて売られているものもあり、我が家では洒落たビールのおつまみで登場する。

ここで育て方も何なんだが、ひまわりは小学3年生の栽培学習で児童たちが植えているほど、初心者向きで、日当たりの良い所なら地植え、鉢植えでも良く育つ。ポット植えで本葉が5・6枚出た頃に花壇やプランターに植替えも可。根を痛めないように植え替えるのがポイント。土は市販の草花用培養土でも良い。水はけ・通気性がよく、適度に保湿性のある土で、赤玉土(小粒)7:腐葉土3に、緩効性肥料を用土10あたり2-3g 梳き込む。品種は大輪25cmのロシアヒマワリから中輪15cm、ミニヒマワリ小輪8cmまで様々なのでお好みでどうぞ、種まきから80日程で花が咲く。福岡では時期をずらして植えれば8月から11月過ぎまで花期を楽しめる。今年は「(風に)ゆさりとせぬ」大輪のひまわり、風と戯れてゆらゆら踊るミニヒマワリを一人一花で育ててみませんか?まだ、間に合いますよ!



能古島アイランドパークの向日葵

写真:福岡市他提供 執筆:福博:花まち研究会会員 きむらみえこ(環境演出家®)

◆URCメディア紹介情報—最近1か月の情報を中心に—

◎新聞

(2018/6/28 東奥日報 朝刊 13p)

十和田/子ども目線の鑑賞法は?保育×芸術 現美で合同研修

市民研究員 OB 藤浩志さんが前館長としてアドバイス

(2018/6/13 西日本新聞 朝刊 23p)

福岡市 キャッシュレス普及へ実験 動物園など導入施設で効果確認

FDC が福岡市とキャッシュレス決裁を実証実験

(2018/6/8 西日本新聞 朝刊 24p)

台湾の挑戦 下 次世代型都市へ可能性 先端技術、世界市場へ

FDC 石丸修平事務局長が福岡スマートイーストが社会課題を解決するための実験場になる可能性に触れ、コメント

(2018/6/8 南日本新聞 朝刊 24p)

鹿児島市紫原の実家活用を実験中/現代美術作家の藤浩志さん、「いとをかし」アイデア募集

市民研究員 OB 藤浩志さんが実家活用のアイデアを募集

(2018/6/7 読売新聞 朝刊 8p)

興す 中 第5部 未来への提言 大胆なインフラ戦略必要 維持管理費 技術で削減を

野田順康特別研究員がインタビューに応え、提言

(2018/6/6 日本経済新聞 朝刊 27p)

大学 学ぶ—磨く—育つ グローバル時代をひらく 九州大学 ロバート・ファンアントレプレナーシップ・センター 九州の起業支援の核に

URC OB で現在企画委員の谷口博文さんが九州大学ロバート・ファンアントレプレナーシップ・センター長としてコメント

◎ラジオ

(2018/6/12 KBC ラジオ 24:30~25:00 Buzz!!LinQ)

中島賢一調整係長がeスポーツについて語る。

(2018/5 毎週金曜日 18:00~18:25 ローカルラジオ放送コミュニティラジオ天神(コミてん) スポガで Ready Bowl!!)

市民研究員 OB 吉田勝さんがパーソナリティを務める。

編集後記 今、博多のまちは山笠一色で、15日の追い山に向けて活気にあふれています。

7月19日の都市セミナー、来月10日のナレッジコミュニティへ多くのご参加をお待ちしています。

今号から新たに「今月のおすすめ:書評」と「所員雑感」を始めました。所員の顔がかいま見えて親しみが持てる、かつ読み応えのある内容にしていきたいと考えておりますが、いかがでしたでしょうか?ご感想等お聞かせくださいましたら幸いです。

特別寄稿:今月の「一人一花の楽しみ」は「ひまわり」でしたので、まだまだ美しい紫陽花をタイトルバックに使いました。ご所属の花まち研では新たな定点観察も始まり、私も街なかの花を意識して見る機会が増えました。

ところで、セ・パ交流戦は、思いがけない結果でしたね。セリーグ最下位のヤクルトが勝率トップだなんて!今年のホークスは、不安要素満載!そんな年もありますよね。

サッカーロシアワールドカップは、日本が決勝トーナメント進出を決めた試合の後味悪くて...常に正々堂々、勝つために戦ってほしかったな~。(そう言うと「子どもっぽい」と思われるかもしれませんが、大人の駆け引きなんて縁がなくて...年令(とし)、幾つかよ!)という理由で、ベルギー戦の観戦お休みしてたら、終わってしまいました。いい試合だったんですね~!

(崎)